

平成 27 年度第 1 回および第 2 回

総合分析実験センター実習コース

「次世代シーケンサーで得られたデータの解析の実践」

総合分析実験センターでは下記の要領で実習コースを開催いたします。参加希望の方は下記連絡先までご連絡ください。

目的： 次世代シーケンサーで得られたビッグデータの解析技術の基本を、実習を通して、習得します。

対象： 博士課程以上の本学の構成員（教員やポスドクも含む）、若干名
（修士課程の方は、同様の内容の特論を受講して下さい。）

日程： 参加者の都合を調整して土曜日や日曜日（終日）に複数回開催します。計 2 ～ 4 回となります。

主な実習内容：

- ✚ PC の設定（TeraTerm, WinSCP, Xming）
- ✚ Linux 基本コマンド
- ✚ シェルスクリプト（繰り返し処理を覚える）
- ✚ EMBOSS や BLAST をコマンドラインで使う
- ✚ R と Bioconductor
- ✚ 次世代シーケンサーの原理と応用例
- ✚ 主要データベース
- ✚ DNA と RNA の精製のポイント（これは実習なし）
- ✚ Resequencing の実践
- ✚ *de novo* assembly の実践（genome & transcriptome）
- ✚ RNA-seq の実践
- ✚ Genotyping の実践（GBS, RAD-seq とその変種）
- ✚ 得られたデータの視覚化

なお、応募者多数のため、二グループに分けて第一回と第二回を行うことにしました。原則として、学外からの参加はお断りしています。

連絡先：総合分析実験センター・永野幸生

nagano@cc.saga-u.ac.jp